

〔 横浜市民ギャラリーあざみ野 〕
平成 23 年度業務報告及び収支決算
〔 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業。○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、
□：定量的指標。■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目17番地3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上3階・地下1階
敷地・延床面積	敷地面積 4,283 m ² 延床面積 7,899 m ² ／専有面積 1,975 m ²
開館日	平成17年10月29日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区北仲通四丁目40番地
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成22年4月1日から平成27年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

指定管理第2期のテーマ「アートで元気になろう」の事業展開を継続しました。
アートを積極的に生活に取り入れこころ豊かに暮らす市民といっしょに地域に働きかけ、横浜を元気にすることを目指し、創造性のある活動を多く行いました。いろいろな活動をしている人たちが知り合い、協力しあい、新しい活動が生まれる体制づくりに努め、すべての人に開かれた運営に男女共同参画センター横浜北（以下「センター横浜北」とする）とともに取り組むことで、横浜市の地域文化振興に貢献しました。

(2) 23年度の業務の方針及び達成目標の総括

① 事業の総括

企画展、通年で行っているアトリエ講座等の内容を充実させ、市民が美術に触れる機会(鑑賞・参加)を数多く提供しました。センター横浜北との連携により、複合施設の特性を生かしたプログラムを実施しました。アートサポーターをはじめとする市民協働や参加型事業の展開を通して、市民がアートと出会う機会を増やしました。また、横浜トリエンナーレ 2011 連携事業を実施し、市北部における同展の広報や集客のサポートにつなげ、相乗効果を高めました。

② 運営の総括

貸館利用者のサービス向上、バリアフリーの推進等、センター横浜北と共同で利用者の居心地のよい施設運営に努めました。利用者の目線に立って希望を受け止め、芸術文化活動の成果が最大限発揮できるよう、専門的なサポートを行いました。また、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの整理・保存・活用を推進しました。

③ 管理の総括

設備業者とともに、設備や備品の適切な保守管理を行いました。アートフォーラムあざみ野全体で環境に配慮するとともに、安心して明るく使いやすい施設管理に取り組みました。

④ その他の総括

収蔵庫の耐震補強工事を実施したほか、ホームページに施設や付帯設備の画像を多く載せ、利用者の利便性を向上させました。常に来館者の視点に立ち、センター横浜北との連携を図りながら、施設運営・事業展開の両面において成果を上げました。

4 業務の達成状況

(1) 事業について

ア 文化芸術に直接出会える場について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>●展覧会事業</p> <p>文化芸術に直接出会える場として、横浜にある芸術文化資源を生かした企画(「横浜wo発掘suru展」)、子どもから大人まで楽しめる参加型の企画(「あざみ野こどもぎやらいい」)、カメラ・写真の企画(「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション+写真展」)、コンテンポラリーの企画(「あざみ野コンテンポラリー」)など、多彩な展覧会を実施します。</p>	<p>□ 4回の展覧会で、関連事業を含め入場者数 12,000 人以上。</p> <p>■ アンケートを実施し、企画展 4 回の平均満足度 4.5 以上。</p>	<p>・展覧会4回を計画通り実施しました。</p> <p>「横浜wo発掘suru vol.2 あざみ野ワークショップウィーク」はヨコハマトリエンナーレの連携事業として、ワークショップを中心とした展示。(入場者:1,710人)。「あざみ野こどもぎやらいい」では参加型のワークショップで制作した日光写真作品を会期中に展示(入場者:3,031人)。「ブム展 +横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展」では、国際的に活躍するクォ</p>	<p>□ 企画展4回の入場者数は合計13,392人でした(それぞれ関連事業を含む)。それぞれ展示内容、関連事業ともに好評をいただき、高い評価を得ました。</p> <p>■ 展覧会の内容に関する顧客満足度調査では、満足度は平均4.7(5点満点)でした。</p>

		ン・ブムン氏(韓国)の日本初の個展として、雪山を撮影した作品の展示と、“ID-うつされた私”をテーマにコレクションを公開(入場者:3,599人)。「あざみ野コンテンポラリーvol.2 Viewpoints いま描くということ」では「描く」ことをテーマに、新進気鋭の若手アーティスト4名が新作を発表。(入場者:5,052人)。	
--	--	--	--

イ 市民やアーティストの創造活動の支援の場について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民のためのワークショップ 美術創作の基礎基本の習得を目的とした講座や、アーティストが行うレクチャーを中心とした講座等を行います。 ●創造活動支援 ホワイエに設置した展示ケースで、アーティストの小品展「ショーケースギャラリー」を行います。 ●市民協働企画 ・アートの領域を広げ、生活の中にあるさまざまなことを学ぶ場・「あざみ野カレッジ」を実施します。 ・コンテンポラリーの企画展等においてサポーターに運営に関わっていただき、新進アーティストを紹介します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市民のための講座・ワークショップを年間8講座以上実施。 ■講座・ワークショップ参加者延べ800人以上。 ■ショーケースギャラリーで、新進アーティストによる展示を3回実施。その他様々な側面からサポートします。 ■あざみ野カレッジは、5年間で学生数1,000名を目指します。 	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を計画通り実施しました。市民のためのワークショップは、「日本画」「陶芸」「ヌードクロッキー」「写真制作ワークショップ」など、毎回充実した内容で参加者の好評を得ました。 ・あざみ野カレッジは、多彩なテーマでほぼ毎月実施しました。 	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市民のための講座等は、年間10講座実施、参加者延べ807人。全ての講座に定員を上回る応募がありました。リピーターを増やすとともに、初心者にも専門性の高い講座を希望する方々にも応える、多彩なプログラムを提供しました。 ■ショーケースギャラリーは3回実施(「田添かおり展」、「伊東純子展」、「竹本真紀展」)。それぞれの作家の制作過程をサポートし、伊東純子、竹本真紀は会期中にアートワゴン(市民協働事業)を出店しました。 ■あざみ野カレッジは11回実施、参加者延べ約330人。(平成22年度から2年間で390人)。
--	---	---	---

ウ 次代を担う子どもの創造性教育の場について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもためのプログラム 創造活動の場として、幼児・児童・個別支援学級や特別支援学校に通う親子 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■子どもためのワークショップを年間10講座以上実施。 □親子のフリーズーンを含む 	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多彩なワークショップや事業を計画通り実施しました。 ・子どもためのプログ 	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■子ども向け講座を19講座実施。 □子供のためのプログラムの参加者延べ約8,040
---	---	--	--

<p>を対象にしたワークショップや、親子が粘土、紙、えのぐで遊べる造形ひろばを開催します。また、音楽に親しむ事業として「ジュニアコーラス」を行います。</p> <p>●学校教育との連携 鑑賞事業として展覧会を活用してもらうための連携事業を開催するほか、教師を対象に鑑賞・実技のワークショップを開催します。また、中学や高校美術の先生とのプロジェクトをつくり、事業への参加を促します（ティーチャーズあざみ野プロジェクト）。</p> <p>●アウトリーチ 「横浜市芸術文化教育プログラム」に協力し、コンテナポラリーアートに親しむプログラムを実施します。</p>	<p>め、子どものためのプログラムへの参加者延べ 8,000 人以上。</p> <p>■学校教育との連携を推進し、アウトリーチ事業を 5 回以上実施します。また、展示鑑賞や創作の場を提供します。</p>	<p>ラム、フリーゾーンともに順調にリピーターが増えています。</p> <p>・アウトリーチ事業や教師のためのワークショップを通じて学校との連携を推進しました。</p> <p>・今後も当財団の中期経営計画(2011-2013)の基本施策として位置づけ、ネットワーク構築を推進します。</p>	<p>人。</p> <p>■青葉区図工研究会で教師のためのワークショップを実施しました。また、アウトリーチはアーティストと共に学校等で 8 回実施し、学校の授業とは違ったアートの体験を子どもたちに提供しました。</p>
---	---	---	---

エ 創造活動と社会、市民活動を結びつける場について

<p>[取組内容]</p> <p>サポートコーディネイトをします。</p> <p>○北部 4 区美術公募展 実行委員会と共催し、市民の創作活動の発表の場を提供します。</p> <p>○青葉区民芸術祭 絵画・書道・写真・茶道・文芸など、施設全体を総合的な芸術活動による市民交流の場とします。</p> <p>●街なかアートプロジェクト アート・ルート・あざみ野プロジェクトを発展させ、地域のさまざまな市民活動と結びつき、出張事業を行います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□北部公募展の拡がりや定着を反映し、展示室全面を利用して展覧会を開催します。応募総数 250 点以上。</p> <p>□青葉区民芸術祭は前・後期で入場者数 5,000 人以上。</p> <p>□アート屋台などを活用し、街なかアートプロジェクトを 5 年間で 15 事業実施。(23 年度は 3 事業)</p>	<p>[実施内容]</p> <p>・北部公募展、青葉区民芸術祭ともに青葉区を中心とする実行委員会との協力を強め、充実した内容の展示となりました。</p> <p>・公募展は周知が進み、応募総数・来場者数ともに伸びました。</p> <p>・街なかアートプロジェクトは、AOBA+ART の活動の場やトリエンナーレ会場で、“アート屋台”『アート・ハットーアートな帽子をつくりませんか?』『くっつけアート』という出張ワークショップを実施しました。子どもたちを中心に地域の方々の注目を集め、参加者に喜ばれました。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>□北部公募展の応募総数は 309 点でした。</p> <p>□青葉区民芸術祭は、前後期あわせて 5,570 人の入場者がありました。お茶席など、来館者との交流が活発に行われました。</p> <p>□街なかアートプロジェクトは、ヨコハマトリエンナーレ連携プログラムほか 4 事業を実施し、賑やかなアート体験の場を出現させました。</p>
--	---	---	--

オ 創造活動を介した人々の関わり合いの場について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>●フェローアートギャラリー 障がいのあるなしにかかわらず認め合える豊かな関係を築くことを目指し、作品展示を通して特別支援学校や作業所での創造活動を支援します。</p> <p>●アーティストと市民の交流 市民協働で運営するアートカフェ、アートガーデン、アートワゴンを通じ、市民とアーティストが知り合う場、アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表・販売する場を創出します。</p> <p>●あざみ野ナイト 建物の壁面や窓ガラスを使って映像作品を映し出すイベントを行い、アートを生かした親しみやすく賑わいのある場をつくります。</p>	<p>□フェローアートギャラリーにおいて2組以上の展示発表を実施。</p> <p>□アートカフェ・アートワゴン・あざみ野ナイトを同時開催含め5回以上実施し、相乗効果で来館者を増やし来館者の芸術文化体験を充実させます。</p> <p>□あざみ野ナイト開催日の来館者数2,000人以上。</p>	<p>・事業を計画通り実施しました。フェローアートギャラリーでは、独特の感性で個性豊かな表現活動を展開している、障がいのあるアーティストたちの作品を展示しました。作品を紹介することによって、障がいのあるなしで区別されるのではなく、同じ地平で認め合える豊かな関係性が築かれることが期待されます。</p> <p>・アートワゴンでは、アーティストや障がいのある人と市民との交流の場が生まれました。</p> <p>・あざみ野ナイトは、企画展「こどもぎやらい」参加アーティストの木村崇人さんの作品によってアートフォーラムあざみ野が星降る空間に生まれ変わりました。映像作品の上映を見る親子連れなど多くの来場者で賑わいました。</p>	<p>□フェローアートギャラリーにおいて4回の展示を実施（「川戸由紀展」、「佐々木卓也展」、「北野里佳展」、「西澤彰展」）。障がいのあるアーティストの新鮮な表現活動を紹介しました。</p> <p>□アートカフェを3回、アートワゴン（“マルシェ”を含む）を9回実施し、アーティストや市民間の交流を推進しました。あざみ野ナイト1回実施。（年度内合計13回実施）</p> <p>□あざみ野ナイト開催日（8/27）の来館者は2,327人でした。</p>

(2) 運営について

ア 市民の利用を促進することについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> 引き続きアトリエの平日夜間料金を半額とし、新規利用者開拓と利用促進を図ります。 H22年度からほぼ100%利用となった展示室については、遺漏のない貸し出し業務に努めます。 	<p>□アトリエの目標利用率：5年間で70%（23年度は63%）</p> <p>□アトリエの夜間の23年度目標利用率：25%（22年度は22%）</p> <p>■アンケートの集計による利用者の満足度4.5以上を目指します。</p>	<p>・アトリエの定期利用者が増え、あざみ野カレッジなどの市民協働事業でもアトリエを有効利用していることから、日にち単位では90%を超える利用がありました。平日夜間料金の半額適用は引き続き実施し、利用促進を図ります。</p>	<p>□アトリエの利用率64%（コマ単位、日にち単位では93%）</p> <p>□アトリエの夜間利用率は36%。</p> <p>■アンケートによる利用者満足度は4.83。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用団体の展覧会情報をHPで紹介し、広報協力をします。 ・ 利用者の意図が最大限発揮できるよう具体的なアドバイスやお手伝いをします。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ HPで貸出備品を画像で紹介し、展示方法についても適宜アドバイスしました。利用者の満足度は高く、98%の方が「また利用したい」と回答しています。 	
---	--	---	--

イ 施設運営における市民参画を促進することについて

<p>[取組内容]</p> <p>「あざみ野アートサポーター」との協働を推進し、展覧会、ワークショップおよび広報事業にご協力いただきます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□アートサポーターは5年間で150名登録を目指します。(23年度は60名)</p> <p>■アートサポーターに企画展や広報事業で活動していただきます。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>アートサポーターに企画展の運営に主体的に参加していただき、事前広報や事業報告(レポート)など、多方面で活躍していただきました。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>□アートサポーター登録者数143名。</p> <p>■企画展や関連イベントのリポートを「アートあざみ野」やブログで執筆していただきました。アートサポーターの有志団体がワークショップの講師を務めるなど、成果が出ています。</p>
---	--	--	--

ウ 積極的な広報を展開するについて

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報誌「アートあざみ野」で、貸館利用者の情報のほか、当館の事業活動のPRをします。 ・ メルマガの登録者(「あざみ野メンバーズ」)を増やすとともに、ボランティア活動等の連絡体制をつくりまします。 ・ 「あざみ野アートネットワーク」として、ホームページを活用し、横浜のアート情報にアプローチしやすくするとともにネット広報事業を推進します。 ・ 施設の活動が的確に多くの市民に伝わるよう、様々な媒体を通じて広報を行い、来館者増につなげます。 	<p>[達成指標]</p> <p>□ホームページアクセス件数が年間10万件以上を目指します。</p> <p>□あざみ野メンバーズ、目標登録者数5年間で10,000名とします。</p> <p>■メールマガジンやホームページでのアート情報発信を推進します。</p> <p>■広報する内容によって有効な媒体を選択し、コストパフォーマンスを高めます。</p>	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アクセス数が50万件を超え、飛躍的に増えました。効果的な広報・情報提供が進んでいます。 ・ メルマガを毎月発信し、展覧会や各講座の有効な告知手段になっています。今後も内容の充実を図り、あざみ野メンバーズ増に努めます。 	<p>[達成状況]</p> <p>□ホームページアクセス数: 522,160件(月平均43,513件)。</p> <p>□あざみ野メンバーズ登録者: 約920名(平成24年3月末日現在)。</p> <p>■特に企画展において、ウェブ広告やツイッターでの情報提供により、来場者誘致が進みました。</p>
---	---	---	--

エ 市民ニーズ、市民満足度等の把握と対応について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
顧客満足度調査（アンケート）を実施し、分析結果を管理運営に反映していきます。	□利用者サービスの向上を図るため、クレームや意見について職員の情報共有と検討を行い、迅速な運営改善につなげます。	アンケートや窓口でのご意見には迅速な対応をしました。ホームページに、展示室内や貸出備品の画像を多数のせ、利用者にわかりやすく紹介しました。	■常に職員間の情報共有と利用者サービス向上につながる業務改善に努めた結果、展示室の顧客満足度は高く、クレームはほとんどありませんでした。

オ カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>収蔵庫管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な収蔵庫管理を行います。 <p>管理・保存</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の映像記録やデータベースを整備します。 日常的に状態を確認し、必要な修復等を行い、適切な保存に努めます。 <p>調査・研究・発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要な機関と連携して調査研究を進めます。 市民のためのワークショップにおいて、資料を活用します。 ショーケースギャラリーにおいて小展示を行います。 <p>活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出、熟覧に柔軟に対応します。 横浜市の写真関連事業への協力を行います。 	<p>[達成指標]</p> <p>□年間を通じて温度は 20℃±2℃、湿度 50%±2%とします。24 時間温湿度・空気集中システムと、3 基の自記式温湿度記録計にて常時監視し、管理は電気式パッケージエアコンで行います。</p> <p>■pH 値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置します。</p> <p>■定期的に文化財喰害虫生息調査を実施し、結果をもとに適正管理を行います。</p> <p>■管理・保存、調査・研究については東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関の協力をあおぎながら進めます。</p> <p>■講座実施や資料活用については、内部の専門職を中心に、外部の専門家を講師として招いて行います。</p> <p>□ショーケースギャラリーでは資料を有効に活用しながら、様々な切り口で企画展示を年2回以上行います。</p>	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備業者と月1回の収蔵庫点検を実施し、良好な環境を保ちました。 担当職員が他機関や専門家との交流を通して専門知識を高め、資料管理や調査研究に役立てました。 	<p>[達成状況]</p> <p>□常に点検業者・設備業者との連絡をとり、収蔵庫内の環境を良好に保ちました。</p> <p>■pH 値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置しました。</p> <p>■年8回の文化財喰害虫生息調査を実施し、結果をもとに適正管理を行いました。</p> <p>■専門家に依頼し必要な作品修繕を実施しました。また、収蔵庫に耐震補強工事を行いました。</p> <p>■あざみ野カレッジ「現代写真を見てみよう」では写真コレクションの一部を参考資料として活用しました。</p> <p>□ショーケースギャラリーで、コレクションを2回公開しました（「カラーフィルムの開発と音楽家レオポルド・マンネスとレオポルド・ゴドウスキー Jr. 展」、「絵画と映像装置展」）。</p>

利用状況等について

施設名	23年度	
	稼働率	利用者人数
展示室1・2	99% (99%)	72,514人
アトリエ	93% (64%)	16,135人
その他		
合計		88,649人

※稼働率：日にち単位（時間帯単位）

(3) 管理について

ア 市民ギャラリーあざみ野占有部分における建物・設備・備品の適切な保守管理及び予防保全について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>・設備業者とともに建物・設備の保守管理を確実に行います。展示室の壁面の補修や備品のメンテナンスなど、良好な状態を保ちます。</p> <p>・法定点検を遺漏なく実施します。</p> <p>・展示室やアトリエの空調や清掃を適切に行い、快適な環境維持に努めます。</p>	<p>■年間無事故を目指します。</p> <p>■修繕必要箇所迅速に対応します。</p> <p>■展示室壁面を年1回メンテナンス(塗り直し)します。</p> <p>■クレームの無い、快適な環境維持を目指します。</p>	<p>施設の定期点検において不具合箇所の早期発見に努め、迅速に対応しました。また建物の長寿化のため、委託会社との情報共有や適切な保守業務を行いました。</p>	<p>■年間無事故でした。</p> <p>■設備会社と協力し、年間計画どおりの点検・メンテナンス業務を実施し、環境維持管理を適切に行いました。</p> <p>■男女共同参画センター横浜北と協力して共有部分の経年劣化による修繕を実施しました。(空調自動制御装置部品交換・発電設備電池交換・自然換気窓の修繕・屋上非常用スピーカー交換)</p> <p>■展示室壁面塗り直しを予定通り実施し、展示室環境を良好にしました。</p> <p>■快適な環境維持を実現し、年間を通してクレームはほとんどありませんでした。</p>

イ 環境問題への配慮について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員や利用者の廃棄物については、適切な管理、搬出を行います。 光熱水費の削減に努めます。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■常にゴミの分別、削減に努めます。 ■利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底し、必要な場合はゴミ袋を有料で販売します。 ■電気や空調を無駄に使用しないよう心がけます。 	<p>[実施内容]</p> <p>ゴミの削減のため、ペーパーレスや再利用に努めました。</p> <p>節電プロジェクトチームを作り、利用者に不便をかけない範囲において、こまめな消灯や電源オフを実施しました。</p>	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備会社と協力し、ゴミの分別は適切に行いました。利用者の理解も進み、ゴミの持ち帰りが徹底されています。 ■節電への取り組みが進み、電気使用量は前年度比△19.2% (7～9月の夏期は△28.8%)、光熱水費は同△3.5%でした。
---	--	---	--

(4) その他について

ア 危機管理対策の充実について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 危機の未然防止に努めるとともに緊急対応体制を整備し、事故発生時には市へ迅速に報告します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■緊急対応体制、危機管理マニュアルを明確化し、危機の際には全員が一致して取り組みます。 □合同防災訓練を年間2回実施します。 	<p>[実施内容]</p> <p>合同防災訓練は、1回目はAED操作を、2回目は地震とそれにとまらぬ火事を想定した避難訓練を実施。訓練等を通して日常的な危機管理意識向上に努め、危機管理マニュアルの充実を図りました。</p>	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■常に設備会社とともに施設の点検と修繕を怠らず、大きな事故なく施設運営を行いました。 ■避難訓練では、立会いの青葉消防署江田出張所長から高評価をいただきました。
--	---	---	---

イ 保険及び損害賠償の適切な取り扱い、個人情報の保護への適切な措置、情報公開への積極的取り組みについて

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 保険及び損害賠償について適切に取り扱います。 個人情報保護、情報公開に適正に対応します。 ホームページを活用し、必要な情報を開示します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■賠償責任保険、レジャーサービス保険、動産保険に加入し、事故の発生に備えます。 ■常に個人情報保護意識を持ち、集めた個人情報は規程に基づき適切に取り扱います。 ■施設利用者向けの必要な情報は、施設ホームページに 	<p>[実施内容]</p> <p>企画展、アートサポーターやワークショップ参加者の館外での活動で適切に保険加入しました。</p> <p>常に個人情報の取扱いには注意して業務にあたりました。</p> <p>ホームページでは最新の情報を常に発信しました。</p>	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■必要な保険に加入しました。 ■随時個人情報管理研修を実施しました。 ■節電対応状況など、ホームページでの情報提供をきめ細かく更新し、寄せられるご意見には迅速な対応をしました。
--	---	---	--

	おいて速やかに公開します。		
--	---------------	--	--

ウ 男女共同参画センター横浜北との連携について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>事業面での協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画段階から共同し、複合施設の相乗効果を高めるとともに、双方の特色を活かした事業を行います。 <p>運営面での協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常業務や定例の打ち合わせにおいて情報や意見の交換をし、「アートフォーラムあざみ野」の施設職員としての意識を高め、効果的な運営に取り組みます。 アートフォーラムあざみ野全体としての広報、施設の環境整備に対して引き続き協力して取り組みます。 <p>維持管理面での協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託会社を交えた定例の打ち合わせを確実に実施し、施設全体の適正な維持管理に共同で取り組みます。 委託会社にもそれぞれの財団のミッションや役割、事業内容、利用者の特性などについて伝え、有効な環境整備を推進します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>ロビーコンサートを月2回程度、通年で実施。 <input type="checkbox"/>アートフォーラムフェスティバルを年1回実施。 ■女性と芸術文化をテーマにした「あざみ野サロン」とワークショップを共同の企画で実施。 <input type="checkbox"/>週1回の管理合同ミーティングを実施（ギャラリー、センター、委託会社）。 <input type="checkbox"/>月1回の職員合同ミーティングを実施。 	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ロビーコンサートは多様な音楽ジャンルのプログラムで実施しました。 アートフォーラムフェスティバルは全館で多彩なイベントを実施しました。 事業面、運営面、維持管理面のいずれも、情報交換と協働を図り、効果的な事業活動と管理運営を行いました。 	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>ロビーコンサートを24回実施。クラシックだけでなく、邦楽や合唱などを気軽に聴きいただきました。 <input type="checkbox"/>「アートフォーラムフェスティバル」では、協働でイベントを企画し、広報や当日の運営においても協力することで、様々な年齢層の来場者を迎えることができました。昨年を上回る2,922人の来館者があり、全館がにぎわいました。 ■あざみ野サロンを4回と、高校生・大学生の職場体験やインターンシップ受け入れを共同で実施しました。 <input type="checkbox"/>週1回の管理合同ミーティングを実施（ギャラリー、センター、委託会社）し、適切な施設運営管理を実施。 <input type="checkbox"/>月1回の職員合同ミーティングを実施し、情報共有しました。

エ 横浜アーティストデータバンクの構築と運用について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> 横浜におけるコンテンポ 	<ul style="list-style-type: none"> ■アーティストや作品のア 	<ul style="list-style-type: none"> ・汎用性のあるデータベ 	<ul style="list-style-type: none"> ■取り組みを推進していま

<p>ラリーアートの展開と発展のために実施します。</p>	<p>ーカイブやデータベース共有化を図ります。 ■新進アーティストを継続して支援していくことを重要なミッションとして位置づけており、積極的に取り組んでいきます。</p>	<p>ス作成に向けたプロジェクトを継続しました。 ・「横浜 wo 発掘 suru vol.2」、「あざみ野コンテンツポラリーvol.2」、ショーケースギャラリーにおいて新進アーティスト(3名)を積極的に紹介しました。</p>	<p>す。 ■若手作家の浅井裕介氏をはじめとして、独自の表現活動を行うアーティストを取り上げ、継続的に活動の支援をしました。</p>
-------------------------------	--	---	--

(5) 収支について

ア コスト削減への努力について

<p>[取組内容] ・適正な予算執行と業務の効率化による節減に努めます。</p>	<p>[達成指標] ■施設管理・事務事業にかかる経費を精査し、男女共同参画センターとも協力して一層の効率的な予算執行に努めます。</p>	<p>[実施内容] 常に事務処理効率化に努め、適正な執行と経費節減を進めました。</p>	<p>[達成状況] ■施設管理費（光熱水費・委託費）を削減しました。</p>
---	--	---	--

イ 収入向上及び外部資金導入の努力について

<p>[取組内容] ・利用料金収入の安定的な確保に努めます。 ・自主事業等において、助成金・協賛金を獲得します。</p>	<p>[達成指標] <input type="checkbox"/>利用料金収入年間 1,200万円以上を維持。 <input type="checkbox"/>助成金を2件申請し、獲得目標 300万円。 <input type="checkbox"/>協賛金・広告料獲得目標 10万円以上。</p>	<p>[実施内容] ・利用料金の適切な収受に努めました。 ・助成金は4件申請。 ・情報誌「アートあざみ野」への広告掲載企業確保に積極的に取り組みました。</p>	<p>[達成状況] <input type="checkbox"/>利用料金（駐車場利用料分を含む）は、1,260万円余。 <input type="checkbox"/>助成金は4件申請しましたがいずれも不採用でした。ただし、写真展（「ブムン展」）では、韓国文化院と共催することで作品輸送費（実質約300万円相当）分の協賛を得られました。平成24年度も助成金や協賛金獲得に努めます。 <input type="checkbox"/>広告料収入は13万円でした。</p>
--	---	---	--

5 収支決算額について

収支決算書

(単位:円)

項目	予算額	決算額	差額	備考
収入				
指定管理料収入	164,200,000	164,200,000	0	
利用料金収入	12,250,000	9,232,180	3,017,820	駐車場利用料の科目変更による(利用料→負担金)
事業収入	3,850,000	2,665,973	1,184,027	舞台系事業の入場料低額化による
その他収入	760,000	4,868,208	△4,108,208	駐車場利用料および共催事業折半分の科目変更による ※決算額のうち駐車場利用料分 3,373,550 円
合計	181,060,000	180,966,361	△93,639	

支出					
人件費	70,860,000	63,736,782	7,123,218	人事異動等による	
管理費	64,000,000	56,941,758	7,058,242		
内訳	光熱水費	15,000,000	13,135,040	1,864,960	節減努力による
	委託費	46,000,000	40,866,941	5,133,059	夜間 館等による
	修繕費	800,000	1,378,585	△578,585	設備の経年劣化による
	受託財産 入	200,000	1,561,192	△1,361,192	映像・展示設備等の充実のため
事業費	36,100,000	35,861,434	238,566		
事務費	10,100,000	11,556,217	△1,456,217	消 品・ 入増による	
合計	181,060,000	168,096,191	12,963,809		

収支計	0	12,870,170	△12,870,170	
-----	---	------------	-------------	--

別紙 自主事業実 一覧

1 文化芸術に直接出会える場

○	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見 者数)
1	6月22日～ 7月3日	主催	横浜wo発掘 suru展 o.2「現代アートを体験しよう あざみ野 or s op」	展示室 1	コ マトリエンナーレ連携事業。ワークショップを中心とした参加型の展示。	無料	1,710人 (1,600人)
2	8月18日～ 8月28日	主催	あざみ野こどもぎやらりい2011	展示室 1・2 アトリエ	小学生までが楽しめる展示とアーティストと一につくるワークショップなど。	無料	3,031人 (3,800人)
3	10月22日～ 11月13日	主催	ブムン写真展+横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展 ー写された“わたし”ー	展示室 1・2 アトリエ	韓国人アーティスト、ブムン の、日本での初の個展と、収蔵コレクションの公開。	無料	3,599人 (3,200人)
4	2月4日～ 2月26日	主催	あざみ野コンテンツポラリー vol.2 「Viewpointsーいま くとということ」	展示室 1・2 アトリエ	「く」ことをテーマに、新進気 の手アーティスト4名が新作を発表。	無料	5,052人 (3,200人)

2 市民やアーティストの創造活動の支援の場

○	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見 者数)
1	4月～3月	主催	市民のためのワークショップ	アトリエ	技術や 料の扱いについての基礎基本の習得を目的としたものや、アーティストからレクチャーを受け、自らの表現に生かすワークショップなど。	5,000～18,000円	807人 (800人)
2	6月～1月	主催	市民協働事業 ショーケースギャラリー	エントランス ロビー	新進アーティストの作品を紹介する小品展。	無料	(無料スペースで開催のため)
3	5月～3月	主催	市民協働事業 あざみ野カレッジ	アトリエほか	アートに関する様々なことを、多彩な講師たちから学ぶ講座。	500円(登録料別 500円)	330人 (200人)

3 次代を担う子どもの創造性教育の場

o	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見 者数)
1	4月～3月	主催	子どものためのプログラム ① 親子のフリーゾーン ② ワークショップ ③ 親子で造形ピクニック	アトリエ	① 保護者と子どもが自由に、粘土、絵の具、紙工作による造形遊びを楽しむ時間。 ② 子どもを対象とした美術系のワークショップ。 ③ 個別支援学級や特別支援学校に通う親子を対象にした造形の時間。	① 無料 ② 1,000～4,000円 ③ 100円	8,040人 (8,000人)
2	8月～12月	主催	学校連携事業 ①教師のためのワークショップ ②ティーチャーズあざみ野プロジェクト ③アウトリーチ	アトリエほか	①小・中学校の先生を対象に鑑賞や実技についてのワークショップ等。②中学校・高校美術研究会と連携して美術と親しむ機会を提供。 ③「横浜市教育文化事業」と連携して実施。	無料	① ②30人 (20人) ② 2校ほか(8回実施) (7校)

4 創造活動と社会、市民活動を結びつける場、創造活動を介した人々の関わり合いの場

o	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見 者数)
1	11月～1月	共催	① 横浜北部公募展 ② 青葉区民芸術祭	展示室 1・2	①横浜市北部4区から公募した絵画を 査のうえ展示。 ②青葉区の芸術祭の開催。書道、写真、 道の展示。区民の日の文化活動の成果発表の場の提供。	無料	① 4,448人 (3,000人) ② 5,570人 (3,000人)
2	4月～3月	主催	市民協働事業 街なかアートプロジェクト	館外	アート屋台で出張ワークショップを実施するなど、アートの持つ活力で街を元気にする事業。	無料	3事業 (3事業)
3	4月～3月	主催	市民協働事業 男女共同参画センター横浜北 共同事業 ① フェローアートギャラリー ② アートカフェ ③ アートワゴン	2 ラウンジ、アトリエ、エントランスロビー、アートプラ	①障がいのある人たちのアート作品を紹介するミニギャラリー。 ②市民とアーティストとが 合う場。 ③アーティストや障がいのある人たちのアート作品を販売。 ④アートフォーラムの壁面やガラスを使って映像作品	無料	(無料エリアでの開催のため)

			④ あざみ野ナイト	ほか	を映し出すイベント。		
--	--	--	-----------	----	------------	--	--

5 積極的な広報展開

○	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見 者数)
1	4月～3月	主催	情報紙「アートあざみの」、HPによる情報提供		当館主催事業のほか貸館の 展覧会情報などの広報のため活用。		
2	4月～3月	主催	ネット広報事業 あざみ野メンバーズ /あざみ野ネットワーク		(1) メルマガ登録者を増やし、ホームページを活用して横浜のアート情報にアプローチしやすい体制を作る。	無料	

カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示

○	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見 者数)
1	4月～3月	主催	横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの保存と活用	収 蔵 庫、エ ントラ ンスロ ビー	データベース整備、適切な 保存業務。 コレクションの力を広く 紹介するための貸出、公開。	無料	

7 男女共同参画センター横浜北との連携

○	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見 者数)
1	4月～3月	共催	センター横浜共同 事業 Welcome ロビーコン サート	エ ン ト ラ ン ス ロ ビー	市民広間 会の を 中心に、様々なジャンルの 音楽を楽しんでいただく ミニコンサート。	無料	2,089 人 (3,000 人)
2	10月	共催	センター横浜北共 同事業 アートフォーラムフ ェスティバル	全館	アートフォーラムあざみ 野の開館を記 して毎年 10月に全館あげて実施。	無料	2,922 人 (2,500 人)
3	8月～3月	共催	センター横浜北共 同事業 「あざみ野サロン」	、	194 を会場に 会やコ ンサートイベントを開催。	500～1,500 円	3 公 ・ 305 人 (3 公 ・ 440 人)
4	8月	共催	職場体験/インター ンシップ受け入れ	全館	高校生、大学生の職業体験 の場を提供。	無料	5 人 (20 人)